

平成29年

消防統計



平成30年1月
下呂市消防本部

平成29年 火災統計

火災件数は8件で前年より5件減少となりました。内訳は、建物火災6件、林野火災1件、その他火災1件でした。前年と比べ建物火災が2件減少、林野火災が同件数、車両火災が1件減少、その他火災が2件減少となっています。

損害額は、4,679千円で前年に比べ4,551千円の減少。内訳は、建物火災4,679千円で、他の火災に損害額はありませんでした。地域別では、下呂地域4件、萩原地域2件、金山地域2件、小坂地域0件、馬瀬地域0件となっています。

建物火災に限定した出火原因は、風呂の空焚き1件、放火の疑い1件、コンロの消し忘れ1件、その他3件でした。焼損棟数における焼損程度は全焼1件、半焼1件、部分焼2件、ぼや2件となっています。

- ◆ 火災概況及び前年比較
- ◆ 原因別火災件数
- ◆ 過去10年間の火災発生件数の推移
- ◆ 地域別・区分別火災発生件数
- ◆ 月別火災発生件数
- ◆ 過去10年間の損害額の推移

平成29年 救急統計

救急出場件数は1,630件で前年に比べ50件の増加、搬送人員も1,541人で前年に比べ7人の増加となりました。

出場件数を事故種別ごとにみると、急病が1,022件(63%)と最も多く、次に一般負傷277件(17%)、その他163件(10%)、交通事故119件(7%)、となっています。その他の内訳としまして160件(98%)が、転院搬送です。署別出場件数では、中署735件、北署401件、小坂分署219件、南署275件でした。

救急出場は1日平均4.46回、救急搬送は市民の22人に1人が利用したことになります。

ちなみに、平成28年版消防白書によると、平成27年中の全国の救急自動車による出動は5.2秒に1回、国民の23人に1人が救急隊によって搬送されたことになっております。

- ◆ 救急出動件数 前年比較及び署別比較
- ◆ 救急搬送人員 前年比較及び署別比較
- ◆ 居住地別搬送人員
- ◆ 年齢区分別搬送人員
- ◆ 過去10年間の救急件数の推移
- ◆ 事故種別・署別出動件数
- ◆ 地域別出動件数
- ◆ 傷病程度別搬送人員
- ◆ 救急隊員の行った応急処置件数

平成29年 救助統計

救助出場件数は、24件で前年に比べ14件の減少となりました。うち、活動件数は14件で前年と比べ9件の減少となっています。種別は、交通事故4件、水難事故1件、その他の事故が9件でした。

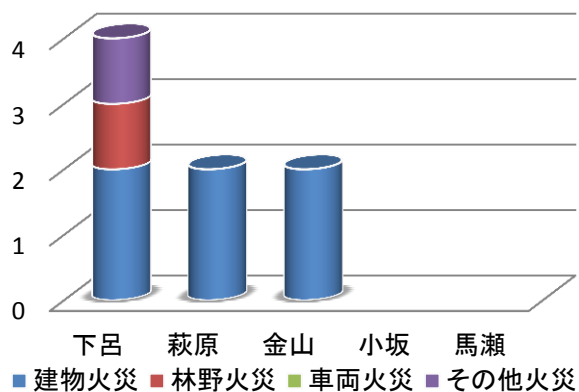
- ◆ 発生地域別活動件数及び救助人員

平成29年 火災統計

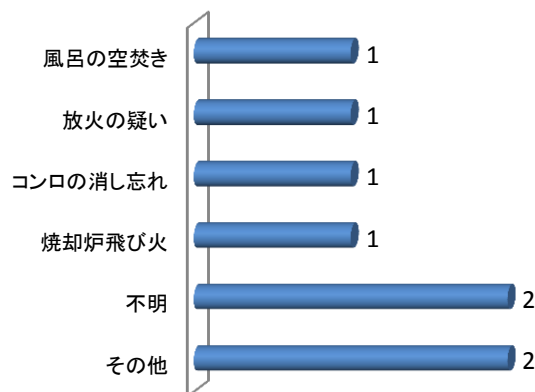
【火災概況及び前年比較】

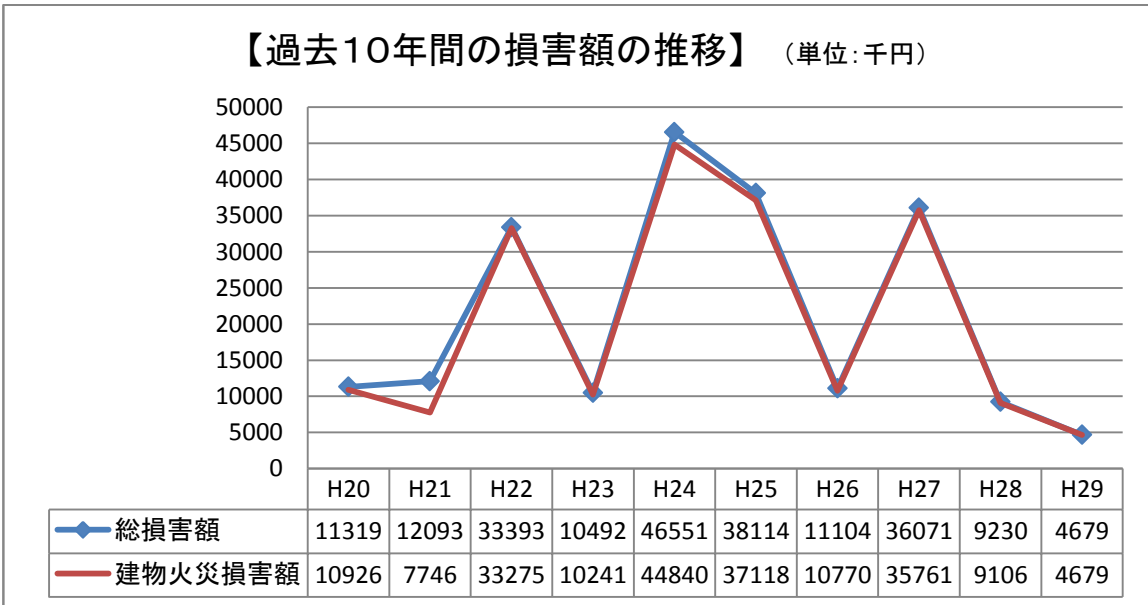
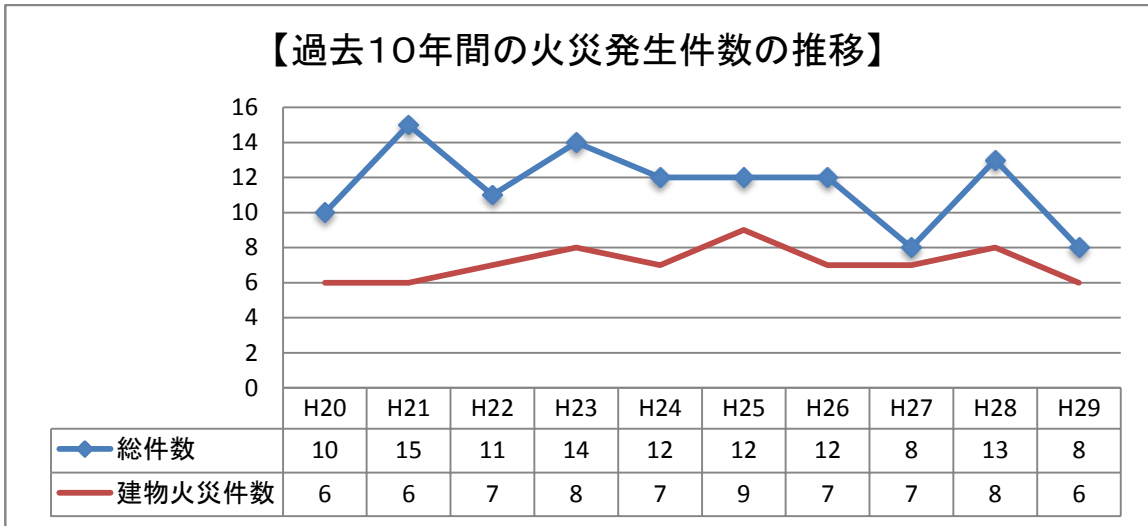
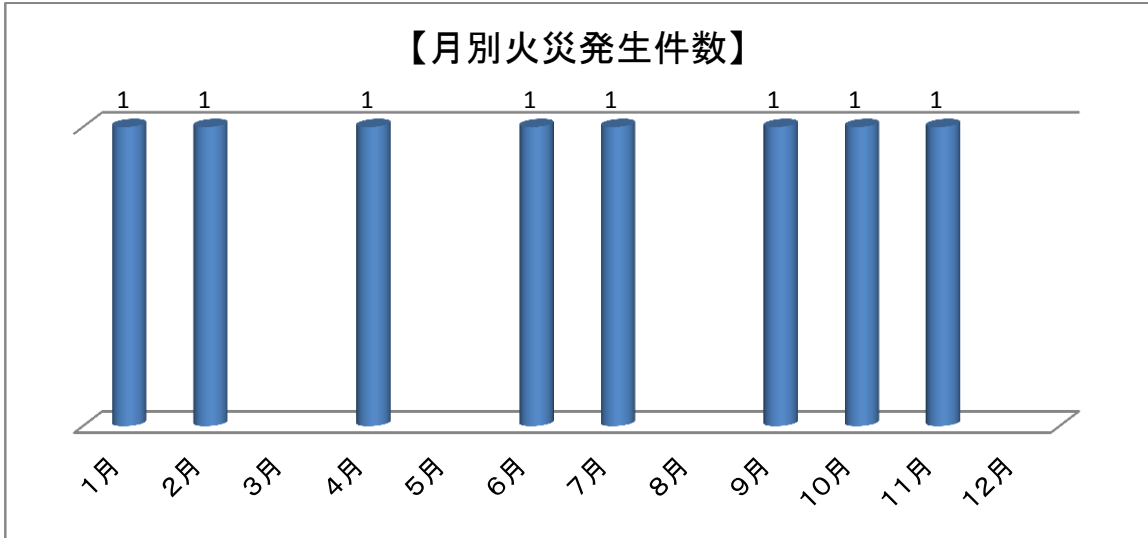
	区 分	平成29年	平成28年	比較	下呂	萩原	金山	小坂	馬瀬
出火件数 (件)	計	8	13	△ 5	4	2	2		
	建物火災	6	8	△ 2	2	2	2		
	林野火災	1	1		1				
	車両火災		1	△ 1					
	その他火災	1	3	△ 2	1				
焼損面積	建物(m ²)	107	319	△ 212	97	10			
	林野(a)	83	3	80	83				
損害額 (千円)	計	4,679	9,230	△ 4,551	4,480	124	75		
	建物火災	4,679	9,106	△ 4,427	4,480	124	75		
	林野火災								
	車両火災		7	△ 7					
	その他火災		117	△ 117					
焼損棟数 (棟)	計	6	9	△ 3	2	2	2		
	全 焼	1	2	△ 1		1			
	半 焼	1	1		1				
	部分焼	2		2	1		1		
	ぼ や	2	6	△ 4		1	1		
り災世帯(世帯)	5	8	△ 3	2	2	1			
り災人員(人)	11	16	△ 5	3	7	1			
死 者(人)	1		1	1					
負傷者(人)			3	△ 3					

【地域別・区分別火災発生件数】



【原因別火災発生件数】





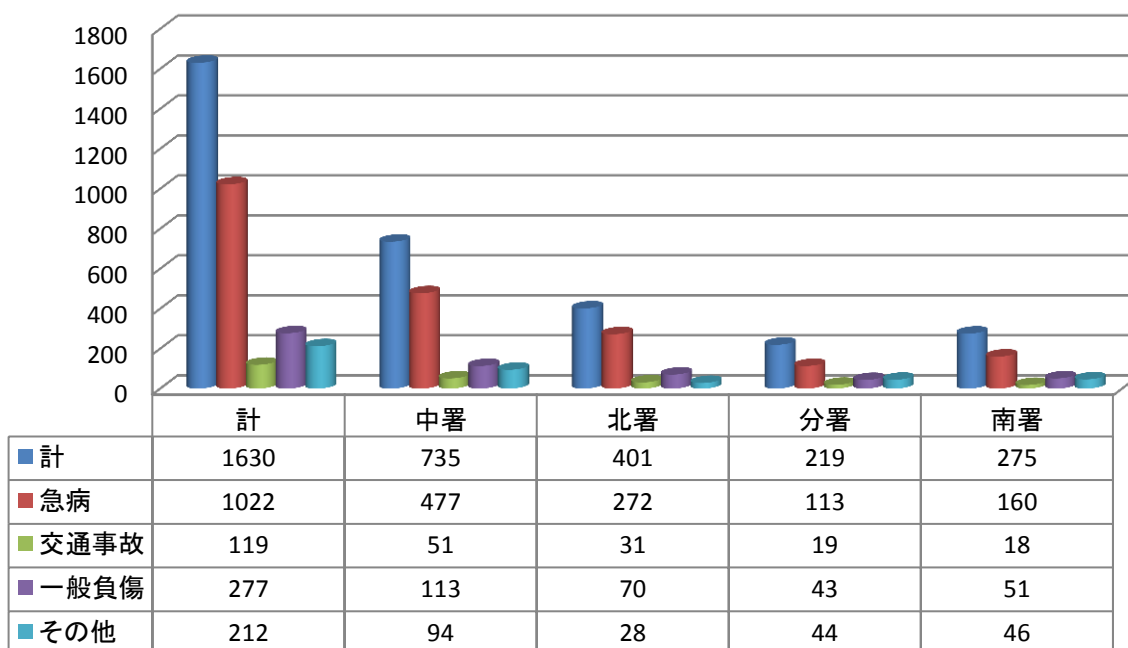
平成29年 救 急 統 計

【救急出動件数 前年比較及び署別比較】

(件)

		平成29年	平成28年	増減	中署	北署	小坂分署	南署
計		1,630	1,580	50	735	401	219	275
火 災		4	1	3	2			2
自然災害								
水 難		5		5		4	1	
交通事故		119	140	△ 21	51	31	19	18
労働災害		20	13	7	13	4	2	1
運動競技		4	9	△ 5		1	2	1
一般負傷		277	263	14	113	70	43	51
加 害		5	2	3		4	1	
自損行為		11	17	△ 6	3	3	2	3
急 病		1,022	986	36	477	272	113	160
その他		163	149	14	76	12	36	39
その他内訳	転院搬送	160	145	15	74	11	36	39
	医師搬送	1		1	1			
	資器材搬送							
	その他	2	4	△ 2	1	1		

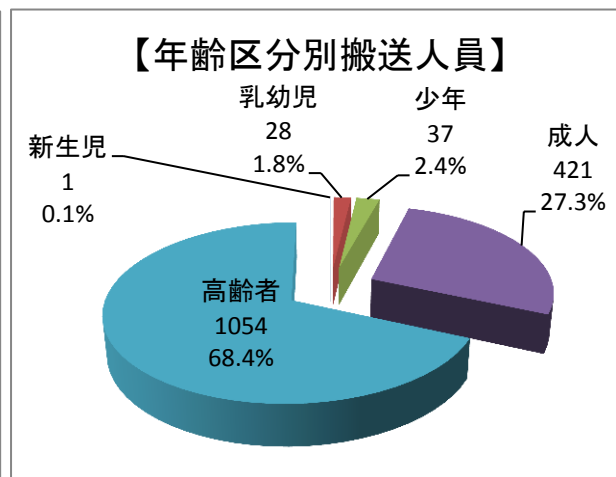
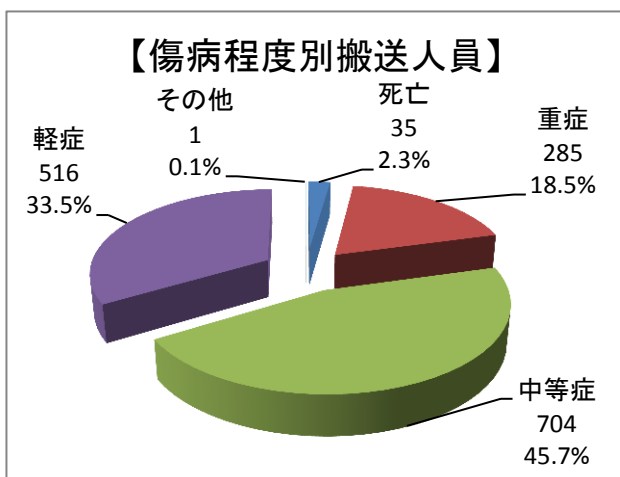
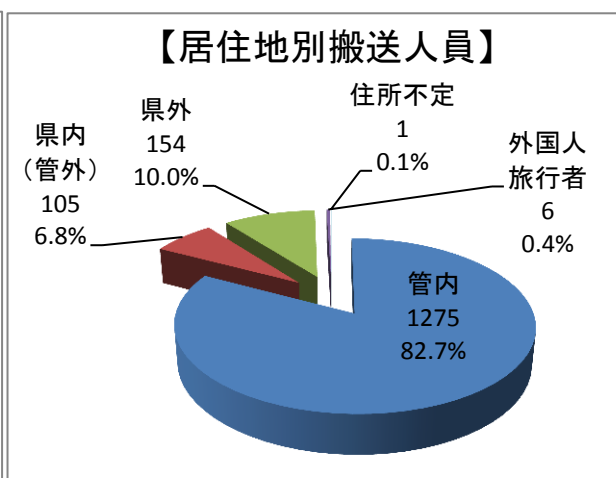
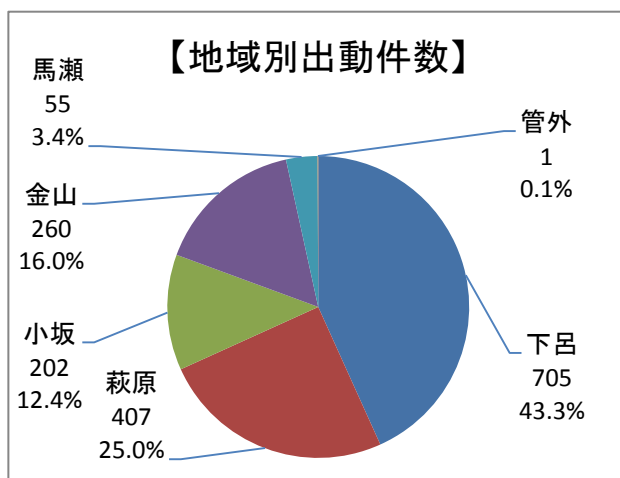
【事故種別・署別出動件数】



【救急搬送人員 前年比較及び署別比較】

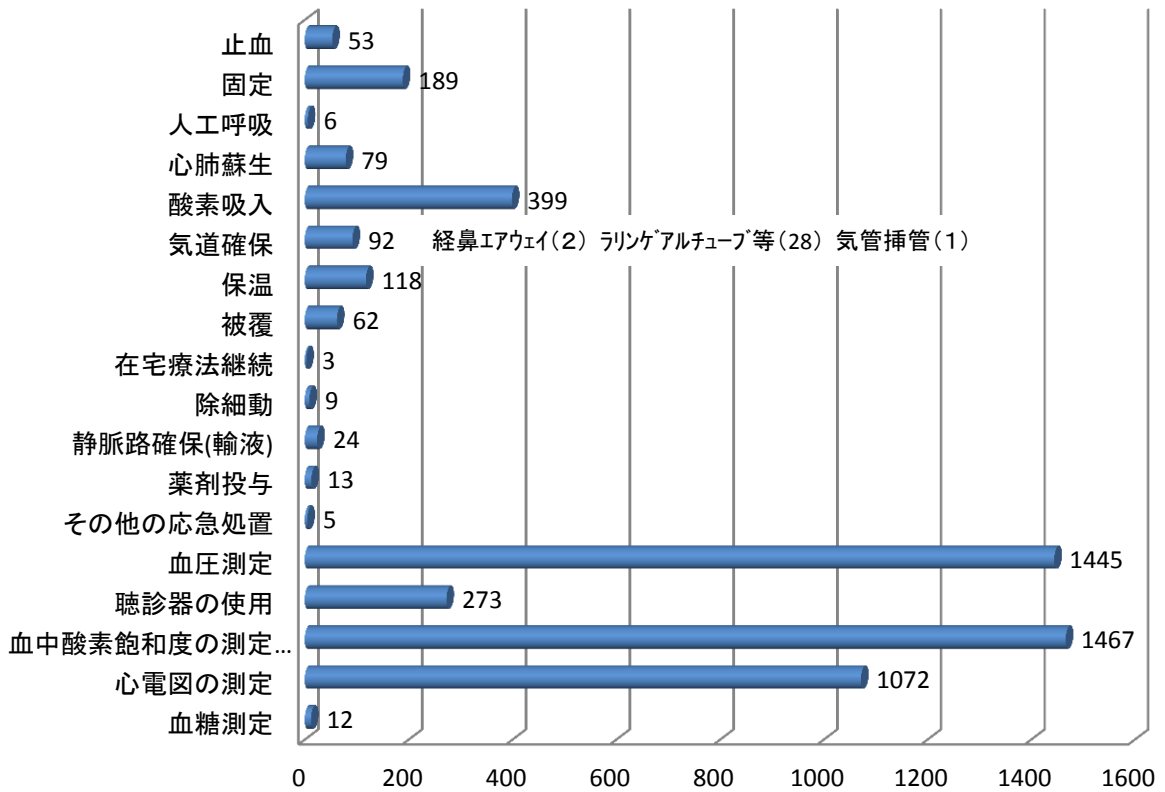
(人)

	平成29年	平成28年	増減	中署	北署	小坂分署	南署
計	1,541	1,534	7	700	374	202	265
火災	1	1		1			
自然災害							
水難	1		1		1		
交通事故	127	161	△34	54	37	15	21
労働災害	16	13	3	12	2	1	1
運動競技	4	8	△4		1	2	1
一般負傷	259	256	3	105	64	40	50
加害	5	2	3		4	1	
自損行為	8	11	△3	3	2	1	2
急病	961	939	22	452	252	106	151
その他	159	143	16	73	11	36	39

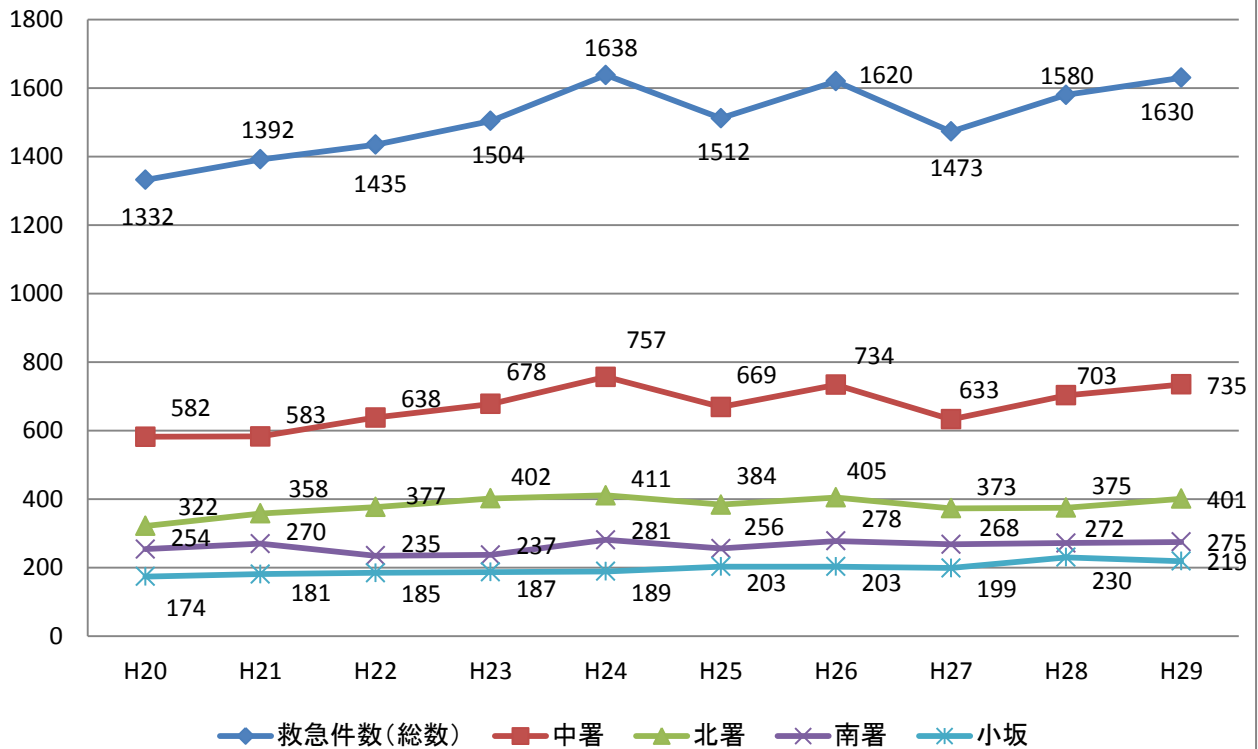


【救急隊員の行った応急処置件数】

対象人員1,541人



【過去10年間の救急件数の推移】



平成29年 救 助 統 計

【発生地域別活動件数及び救助人員】

	出動件数	活動件数（出動件数の内数）及び救助人員											
	市内	下呂		萩原		金山		小坂		馬瀬		計	
交通事故	9件	3件	3人	1件	1人							4件	4人
水難事故	3件									1件	1人	1件	1人
その他の事故	12件	4件	4人	2件	2人			1件	1人	2件	2人	9件	9人
計	24件	7件	7人	3件	3人			1件	1人	3件	3人	14件	14人

下呂市消防本部職員数

平成30年1月1日現在

	消 防 吏 員						その他の職員	計
	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士		
消防本部	1	4	2	2				9
通信担当		2	2	4				8
中消防署		7	6	5	4	6		28
北消防署		4	3	2	3	5		17
小坂分署		2		2	2	2		8
南消防署		4	3	3		5		15
計	1	23	16	18	9	18		85

下呂市消防本部現有車両

平成30年1月1日現在

	指令車	救 急 車		水槽付 ポンプ車	ポンプ車	梯子車 (30m級)	救 助 工作車	その他の 車両	計
		2B	高規格						
消防本部	1		1	1				2	5
中消防署	1		1	1	1	1	1		6
北消防署	1		1		1			2	5
小坂分署	1		1		1				3
南消防署	1		1		1			1	4
計	5		5	2	4	1	1	5	23

下呂市の概要

平成30年1月1日現在

地域	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口密度 (人/k m ²)
萩 原	143.15	10,634	3,582	74.3
小 坂	247.50	3,076	1,135	12.4
下 呂	194.11	12,207	4,714	62.9
金 山	167.84	6,156	2,420	36.7
馬 瀬	98.46	1,156	398	11.7
計	851.21	33,229	12,249	39.0

全国統一防火標語

平成29年度

火の用心 ことばを形に 習慣に

平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成23年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
平成17年度	あなたです 火のあるくらしの 見張り役
平成16年度	火は消した？ いつも心に きいてみて
平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
平成13年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成4年度	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”
平成3年度	毎日が 火の元警報 発令中
平成2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心
平成元年度	おとなりに あげる安心 火の始末
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末!
昭和62年度	消えたかな! 気になるあの火 もう一度
昭和61年度	防火の大役 あなたが主役
昭和60年度	怖いのは 「消したつもり」と 「消えたはず」
昭和59年度	“あとで”より “いま”が大切 火の始末
昭和58年度	点検は 防火のはじまり しめくくり
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心
昭和56年度	毎日が 防火デーです ぼくの家
昭和55年度	あなたです! 火事を出すのも 防ぐのも
昭和54年度	これくらいと 思う油断を 火が狙う
昭和53年度	それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心
昭和52年度	使う火を 消すまで離すな 目と心
昭和51年度	火災は人災 防ぐはあなた
昭和50年度	幸せを 明日につなぐ 火の始末
昭和49年度	生活の 一部にしよう 火の点検
昭和48年度	隣にも 声かけあって よい防火